

S.A.R.S.主催Kカー5時間耐久走行会 規則書

(平成29年1月22日改訂)

開催趣旨

はじめに、本走行会は軽自動車愛好家の運転技術の向上を図り、情報交換をしながら親睦を図ることを目的としています。

大会名称

S. A. R. S. 主催Kカー5時間耐久走行会

組織運営

S. A. R. S. (Sun Auto Racing Staff)

大会役員

大会会長	内田 勝也
競技長	仁科 一徳
技術委員長	林 昌功
計時委員長	松田 利之
コース委員長	上原 秀夫
事務局長	山名 博之

開催日 2017年

第1戦	4月 30日 (日)
第2戦	7月 30日 (日)
第3戦	11月 19日 (日)

開催場所

備北ハイランドサーキット (A・Bコース)
岡山県新見市豊永佐伏焼見堂
TEL 0867-74-2918

会場周辺に対する配慮

- ・開催場所及び周辺地域、及び住民に配慮し、社会秩序を守り、走行会の規定に従うこと。各参加者は、ゴミを持ち帰ること。

参加申込期間

- ・各大会の約40日前からの7日間とする。
各大会毎に正式受付期間をホームページにて発表する。
但し、参加台数が規定台数の**38台（再募集後）**に達しない場合、SARS大会役員が協議し大会を中止する場合がある。

参加申込方法

- ・確実に申込者が自署・捺印した申込書（ドライバー追加は大会当日に本人による自署・捺印で可能）参加費用を添えて現金書留で郵送すること。
- ・持参・FAXでの申し込みは一切認めない。

〒710-0142

岡山県倉敷市林552

サンオートサービス内 S. A. R. S. 事務局

FAX 086-485-1393

E-Mail sars-k4@cpost.plala.or.jp

URL <http://www.sars-k4.com>

注：申込み開始日より前に届いた場合は、申込み締切の最後尾より受付するものとする

参加資格

- ・本大会の規則を理解・承諾し、誓約書に本人自書・捺印した者を許可する。
- ・18歳以上で自動車運転免許の保有者であること。
- ・未成年者は、親権者の承諾を得ること。（申込書に親権者の署名・捺印が必要）

参加制限

- ・NFクラス（NAフルノーマル）、NDクラス（NA改造）とTFクラス（ターボフルノーマル）、TDクラス（ターボ改造）で、全クラス合計で50台までとする。
- ・参加者台数が50台を超える場合、抽選で参加制限を行う場合がある。
- ・その場合、参加費用は事務経費（1,000円）を引いた額が返金される。

参加費用

- ・1チームにつき35,000円（ラップチャート含む）とする。
- ・金属製ロールケージ（オフィシャルが安全と判断できるもの）装着車両のみ、チップ返却時に2,000円のキャッシュバックをすることとする。

参加受理

- ・ 参加受理は、大会数日前までにゼッケン番号とピットの割り振り表を通知する。
- ・ 参加受理は、申込書の届いた順とし、ゼッケンの希望は一切受け付けないものとする。
- ・ チーム等で横並びを希望する場合、申込書を同封し送付すること。

キャンセル待ち

- ・ 50台の走行枠にもれた場合、大会7日前までキャンセルが発生しない場合、申込みの早かった順にキャンセルが出た場合の走行の権利を受けるものとする。
- ・ キャンセル待ちを断らない限り走行の権利を待つものとする。
- ・ 大会7日前を過ぎてもキャンセルが発生しない場合、事務経費(1000円)を引いた額を現金書留にて返金するものとする。

キャンセル

- ・ 参加受理後、大会当日より10日前までのキャンセルは、事務経費(1000円)を引いた額を返金するものとする。
- ・ 大会当日より10日前を過ぎてからのキャンセルは参加しない場合でも返金しないものとする。

走行会規定

携帯義務

- ・ 出走ドライバーは走行中に必ず免許証または免許証のコピーを携帯（車両への常時積み込みも可）すること。

ゼッケンと計測チップ

- ・ **ゼッケン3枚**及び計測チップは、走行会当日受付にてS.A.R.S.より一緒に貸与されるものを使用すること。
- ・ ゼッケンは、**左右両ドア・ボンネット**へガムテープ等を利用して貼り付けること。
- ・ 計測チップは、原則として左後部ガラスの内側で、金属部分から離して（地上1m位の高さ）ビニールテープ等を利用して貼り付けること。
- ・ 計測チップはそれぞれを5cm以上離し、ボディからも5cm以上はなすこと。（オープンカーなどの一部車両を除く）

注：オフィシャルによる確認を行い、取り付け位置の変更をお願いすることがある

- ・ 走行会終了後又は、リタイヤした場合はその後速やかに、計測チップをS.A.R.S.へ返却しなければならない。
- ・ 万一、計測チップを破損又は紛失した場合には、賠償金として2万円を支払はなければならない。

予選

- ・計測チップによる測定で、グループ分けによる約10分のフリー走行の内に行う。
- ・10分間の内にピットインした車両は、再度のコースインは不可とする。

決勝走行会

- ・予選タイムの上位よりコース上に整列し、ペースカーによるローリングスタートとする。
- ・ペースカー先導によるローリングを行い、ペースカーがピットインした後に、先頭車両のコントロールライン通過をスタートとする。なお、各車コントロールライン通過までは追い越し禁止とする。
- ・スタートからゴールまで5時間とし（途中の中断もカウントする）、5時間経過後チェッカーフラッグをもって耐久走行会を終了する。
- ・天候・事故等による不可抗力で、競技長の判断により競技時間の短縮を行う場合がある。

信号合図規則

- ・日章旗〔1番ポスト〕 スタート合図
- ・赤旗〔各ポスト〕 レーサー一時中断または中止
 - ： オフィシャルの指示に従い徐行してコントロールラインに縦一列で待機すること。
- ・黄旗〔各ポスト〕 コース上に障害物あり
 - ： 障害物を通過し次の旗の出ていないポストを通り過ぎ安全を確認するまで追い越し禁止とする。
- ・白旗〔1番ポスト〕 コース上にペースカーや牽引車が入っている。
 - ： 全コース追い越し禁止とする。
- ・緑旗〔1番ポスト〕 規制解除
- ・黒旗〔1番ポスト〕 違反行為及び整備不良の告知（ゼッケンも表示する）
 - ： ピットストップしオフィシャルの指示に従うこと。
- ・オイル旗〔各ポスト〕 雨以外の理由でコース表面が滑りやすい状態時に（オイルもれの可能性やコース上に落下物がある場合も含む）最長約10分間掲示する。
- ・フルコースコーション時、ペースカーにて先導する。ペースカーは、原則としてトップと思われる車両の前に進入する。
- ・チェッカーフラッグ〔1番ポスト〕 5時間終了後、暫定トップの車に対して振られる。
- ・チェッカー後、徐行・追越し禁止で一周後ピットインする。

ピットイン及びピットアウト

- ・ピットインしようとする車両は、Aコースのコントロールタワー通過後、早めに左ウインカーを点滅させ、コースの左端を徐行すること。
- ・ピットロード・パドック内は1速のみ使用で30キロ以内の徐行すること。
- ・ドライバーの交代・整備修理・ターボ車のクールダウンは、各参加者のピットに車両を完全に入れて行うこと。(赤旗中でも可)
- ・ピットアウトしようとする車両は、オフィシャルの指示に従い、走行車両に気をつけてコースインすること。

給油

- ・決勝走行会開始後の給油は、指定場所で金属製携行缶から自然落下でのみ行われる。
- ・給油中はエンジンストップにて、ほかの一切の作業を禁止する。(ドライバーチェンジも不可)
- ・給油マン以外の一人が、各チーム持参した消火器を持たないといけない。
- ・車体や地面にこぼれたガソリンは、必ず雑巾等で拭き取ってピットアウトすること。

ペナルティー

- ・著しくマナーに反する行為(衝突、進路妨害、開催者・選手間での名誉を傷つける言動など)、ルール無視があった場合や整備上危険と判断する車両などは、ペナルティーを課す場合がある。ペナルティーは主催者が決定する。最悪はその参加者の走行中止もありうる。
- ・指定場所以外での給油が発覚した場合は、10分間のタイムペナルティーを課す。
- ・黄旗無視は、ピットスルーのペナルティーを課す。
- ・白旗及び赤旗無視は、10分間のタイムペナルティーを課す。
- ・黒旗掲示後2周以内にピットインしなければ、5分間のタイムペナルティーを課す。
- ・ピットロード・パドック内の徐行無視は、5分間のタイムペナルティーを課す。
- ・コントロールライン通過までのフライングスタートは、5分間のタイムペナルティーを課す。
- ・ダブルチェッカーは、2周のペナルティーを課す。
- ・ペナルティーストップは、予め決められたペナルティーエリア内に停止し、オフィシャルの指示に従わなければならない。その際、ドライバーは車から降りることは出来ない。又、一切の作業・サービスも受けられない。

服装等

- ・ヘルメットはジェット型かフルフェイス型を使用すること。(おわん型等は不可)
オープンカーはフルフェイス型を強く推奨する。
- ・綿の長袖の上下服、又はレーシングスーツを着用すること。(袖まくりは不可)
- ・レーシングシューズ(運転に適したスニーカー等)、指先まで完全に覆うグローブを着用すること。(軍手と思われるものは不可)

参加者の遵守事項

- ・走行会中の飲酒、神経に影響を及ぼす薬の服用を禁止する。
- ・各チーム、1本以上の消火器を持参すること。
- ・パドック内では火気厳禁。火気を使用する飲食はプレイハウス付近、土手の上等で行うこと。喫煙は定められた場所で吸うこと。

参加者の承認事項

1. 損害の補償

- ・参加者とは競技者、観客、オフィシャル、スポンサーなどこの走行会に関わる全ての参加者のことであり、参加車両や備品の破損、盗難、紛失はもとより、会場施設や器物を破損させた場合の補償など、いかなる理由においても各自が自己の責任において一切を解決しなければならない。コース及び会場設備へ損害を与えた場合は、全額弁償しなければならない。

2. 主催者の免責

- ・本走行会の全ての参加者は、本大会主催関係者が一切の損害賠償の責任を免除されていることを了承しなければならない。すなわち、その任務遂行上におきた競技者、及び全ての参加者の死亡、負傷、車両損害に対して一切の責任を負わないものとする。

3. オフィシャルの免責

- ・走行会運営において、いかなる場合もオフィシャルは一切の責任を免除されていることを了承しなければならない。

4. 主催者の権限

- ・著しくマナーに反する走行とオフィシャルが判断した場合、走行の中止及び退場を命ずることがある

抗 議

- ・抗議については、一切受け付けない(場合によっては退場を命ずることがある)。

肖像権

- ・走行会名称及びロゴマーク、映像、写真等の使用権利はSARS事務局に所属する。

車両規定

- ・本規定に書かれていること以外はしてはいけない。
- ・本規定の解釈の取り違いを防ぐため、不明な点は必ずメールにてチーム名を入れて事務局まで問い合わせをすること。
- ・メールにて問い合わせが無い場合、SARS大会役員の判断に従うこと。

フルノーマルクラス・改造クラス、共通項目

- ・道路交通法に合致しない競技車両は、積載車により搬入すること。
- ・自動車臨時運行許可番号標（いわゆる、臨番）での車両搬入は禁止する。
- ・登録(ナンバー)の有無は問わない。
- ・フロントガラスへのフィルム貼り付けは禁止する。
- ・フロントガラスへのハチマキはガラス上部から20cmまで可とする。
- ・4点式以上のシートベルト装着を義務付ける。取付けは堅牢にすること。
- ・タイヤは一般市販ラジアルタイヤ（Sタイヤ・スリックタイヤは使用不可）を使用すること。
- ・バッテリーの+側端子には、絶縁カバーを取り付けること。
- ・尾灯・制動灯・方向指示器・バックランプは正常に点灯すること。
- ・コースの特性上（濃霧などによる視界不良）、前照灯が正常に点灯することを推奨する（改造車クラスのみ片側・デイトライトでも可とする）
- ・ガラス製のライト類には、テーピングをすること。
- ・フロントガラスの取外しは不可。（レース中の破損も同じ）
- ・オープンカーは、ロールケージやロールバーの装着を推奨する。未装着車両は、万が一の転倒時にドライバーの安全を確保する為、ハードトップやソフトトップなどの屋根を装着すること。
- ・走行中の運転席の窓は全閉とすること。ただし、運転席の窓に市販のレーシングネットを装着している場合は、窓を開けて走行することができる。
- ・車体前後に黄又はオレンジ色に塗装した牽引フックを装着するか、ノーマルフック使用車はロープをかけた場合にじゃまならないよう、前後スポイラー等をカッティング処理し、カットしたスポイラーの周囲を黄又はオレンジ色のマーキングをすること。
- ・純正以外の給油口キャップを使用する場合は、フューエルリッドを取り外さないこと。
- ・バケットシート・ロールケージ装着を推奨する。
- ・消火器の取付けを強く推奨する。
- ・計測チップを取付ける左後部ガラスには、ミラーフィルムを貼らないこと。
- ・計測チップの取り付けは、それぞれを5cm以上、ボディからも5cm以上離し、布もしくはナイロン製のテープで固定すること。（金属製のステーの使用と金属テープでの固定は禁止する）

フルノーマルクラス (NF/TF)

- ・その年度の国土交通省の車両保安基準(要するに一般車検)に合致した車両であること。
- ・SARS大会役員の判断により、クラス変更になる場合がある。
- ・入賞車両はレース終了後、再車検を行う。

<ボディー関係>

- ・ボディーの改造なしで取り付けられるスプリング・ダンパーへの変更可。但し最低地上高は9センチ以上であること。
- ・調整式ラテラルロッド、ピロアッパーマウントの使用は可能。
- ・一般車検に合致したエアロパーツの取付けは可能。
- ・軽量化及び材質変更パーツ（穴あけ含む）への交換は禁止。
- ・内装（フロアマット・カーペット・アンダーコート除く）の取外しは禁止する。ダッシュまわり、全ドア・後部両側面・天井の内張りの取外しは禁止する。
- ・ラジオ、カーステレオ、エアコンの取外しは可能。
- ・運転席、助手席の変更は可能だが、取外しは禁止する。後部座席のみ取外し可能。
- ・タイヤ、ホイールのサイズは自由とするが、ノーマルフェンダーからはみ出さないこと。（爪折り等の加工禁止）

<エンジン関係>

- ・エンジンマウントの強化（溶接止め・軸位置の変更は禁止）は可能とする。
- ・プラグ及びプラグコードの変更は可能。
- ・純正エアクリーナーケースを使用すること。ただしエレメントの交換は可能。
- ・オイルクーラーの取付けは可能。
- ・スポーツマフラーへの変更及び加工した純正マフラーの使用は禁止する。（純正同等品の使用は可能）
- ・それ以外は不可とする。

例：排気システムの改造・サブコンピューター・ブーストコントローラー・
駆動系の改造・駆動方式の変更・コレクタータンクの取付けなど

改造クラス (ND/TD)

- ・エンジン本体は、軽四のエンジンであれば可能。
- ・車体の選択は自由。ただし同一メーカーのエンジンを使用しなければならない。
- ・マフラーは、後方排気でバンパーより突出しないものに限り変更可能。ただし、100ホンを超えないものを装着のこと。(マフラー後方2mで騒音測定器により測定するものとする)
- ・フェンダーの叩き出し・オーバーフェンダー等を装着しても、更にはみ出すタイヤ・ホイールは使用禁止する。
- ・リアクォーターガラスとリヤウインドウの亚克力ルへの変更は可能。純正の開閉装置を使用しての開閉は自由とする。(穴あけ・取外しは禁止)
- ・燃料タンクの増設は、安全タンクのみ認める(ただし、コレクタータンクは2リットル以下を1個までとする)。遮蔽板(不燃物による)の取付けを強く推奨する。
- ・室内にバッテリーを移動する場合は、バッテリー液の漏れ・浸透しないケースを取り付けること。
- ・ブローバイガスを空中排気の場合、各車1リットル以上のオイルキャッチタンクを装備すること。